

**国際華語特別集会#1:召会の内在的な本質は、  
召会の有機的な存在のためである5/10-5/16**

**I. 召会の内在的な本質は、召会を生み出す神聖な命です:**

**A.** 召会の内在的な本質は神聖な命、不朽の命です。この命は、手順を経た三一の神が私たちの中へと分与したものであり、そして今も私たちの中へと分与しつつあるものです。この神聖な命は、実は手順を経て、今や分与する三一の神です:

**1.** 神聖な命は、その霊が私たちの霊の中で再生することによって、私たちを生みます。神聖な霊は人の霊を生み、この二つの霊はミングリングされて一になっています。

**2.** 私たちは再生されるとき、神の子供たちとされ、花婿であるキリストの花嫁とされ、彼の増し加わりとなります。それは、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます:

**a)** エバが出現する前、彼女はアダムのあばら骨、すなわちアダムの一部分でした。この啓示にしたがって、召会が出現する前、召会はキリストの一部分であったと、私たちは言うことができます。私たちの肉体の肢体が私たちの一部分であるように、キリストの肢体はキリストの一部分です。**b)** アダムのあばら骨がエバの中へと命を分け与えて、彼女をアダムの配偶者としたように、キリストの永遠の、神聖な、不朽の命は私たちの中へと命を分け与えて、私たちを彼の配偶者とします。

**B.** キリストが召会の内在的な本質となったのは、キリストが一粒の麦として地に落ちてそこで死に、彼の神聖な命を解き放って、彼を増殖させたことを通してでした。

**C.** キリストが召会の内在的な本質となったのは、キリストが復活の中で神の長子となり、彼の神聖な命を分け与えることを通してでした。それによって神は、キリストの多くの兄弟たちとしての多くの子たちを持つことができます。』

**D.** キリストの多くの兄弟たちは、宇宙におけるまことのぶどうの木であるキリストの中へと接ぎ木された多くの枝であり、多くの実を結び、彼の開展における拡大となります。それは、彼らが三一の神を、彼の有機体として表現するためです。ぶどうの木の枝は、キリストの命の樹液としての命を与える霊の十分な供給を受けるとき、実を結んで、内なる命の供給のあふれ流れとなります。

**E.** この三一の神の有機体は、キリストの有機的なからだであり、彼の多くの兄弟たち、すなわち彼の有機的なからだの多くの肢体で構成されています。

**II. 私たちは召会の有機的な存在を見て、経験する必要があります:**

**A.** 召会が宇宙に存在するのは、神の一つの宇宙召会としてであり、神の宇宙的な表現、すなわち神の豊満のためです。

**B.** 召会は地上で多くの地方に広がっていき、多くの地方召会となり、地方における彼の表現となります:

**1.** I コリント12:28でパウロは、使徒(彼らは宇宙的で)、預言者と教える者(彼らは宇宙的であり、また地方的です)、執事と長老(彼らは地方的です)をみな一緒にしています。これが意味するのは、この節の「召会」という言葉が、宇宙召会とすべての地方召会を暗示しているということです。

**2.** 神の目に、宇宙召会とすべての地方召会はただ「召会(the church)」です。手順を経て、今や分与する三一の神は一であり、彼は召会の本質そのものです。ですから、この召会は、その宇宙的な面でも地方的な面でも、一つの召会です。

**C.** 召会の内在的な本質は、召会の有機的な存在のためであるということに、私たちが戻って来るとき、諸地方召会は互いに異なることができるという誤った教えについて、間違っていることはないでしょう。すべての召会は、手順を経て分与する三一の神の、唯一の、一つの有機体です。

**D.** 聖書によれば、実行上の、七重の一は、私たちが①教えにおいて一であり、②実行において一であり、③思うことにおいて一であり、④語ることに一であり、⑤本質、⑥外観、⑦表現において一であることです。』

**III. 私たちは絶えず私たちの霊を訓練し、私たちの心を主に向けて、召会の有機的な存在のために、召会の内在的な本質の実際にある、命の道にとどまらなければなりません:**

**A.** 私たちは命の道を歩き、霊にしたがって命の木によって生きなければならず、死の道を歩いてはならず、自己にしたがって、正しいか間違っているかの知識の木によって生きてはなりません。

**B.** 私たちが命の道にとどまるのは、極みまで主を愛することによってです。主を信じることは、主を命として受け入れることです。主を愛することは、主を命として享受することです。

**C.** 私たちと主との間の愛は、私たちの思想にかかっています:

**1.** II コリント11:2でパウロが言っているのは、彼が私たちを一人の夫に婚約させて、清純な処女としてキリストにささげたということです。それは、私たちがキリストに対する正常な愛をもって、キリストを享受するためです。次に3節でパウロが告げているのは、私たちの思い(文字どおりには、思想)が腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失う可能性があるということです。

**2.** 人の思想(思い)の以下の病状は、キリストを命として享受することに対するあらゆる妨げです:

**a)** 人の思想の第一の病状は、思いをかたくなにすることです。**b)** 人の思想の第二の病状は、サタンによってくらまされていることです。**c)** 人の思想の第三の病状は、反逆です。**d)** 人の思想の第四の病状は、腐敗です。

**3.** 私たちは祈るべきです、「おお、主よ、私の思想を探り、私の思想を救って、私の思想が単一に完全にあなたに集中することができるようにしてください」。

**4.** 私たちはキリストを召会の内在的な本質として享受するために、彼に対する燃える愛を持ち、彼にすべての事で第一位を与えなければなりません。

**D.** どうか私たちが、絶えず私たちの神のあわれみ深い慈しみを受けますように。それによって私たちは、命の流れの中でキリストを命の木として享受することによって、命の道、命の路線にとどまり、命を維持します。そして命における成長によって、命における神の建造へと至ります。これが、召会の有機的な存在のために、私たちが召会の内在的な本質にとどまることです。

**CP1:** 生きているのはもはや古い私ではなく、キリストが新しい私の中で生きる。これが神のエコノミーの核である

**OL1:** 召会の内在的な本質は、召会を生み出す神聖な命です。 Iヨハネ1:2 この命が現れました。私たちはこの永遠の命を見たので、あなたがたに証しをし、また伝えています。この永遠の命は御父と共にいましたが、私たちに現れたのです。

5:1 イエスがキリストであると信じる者はすべて、神から生まれています。そして生んでくださった方を愛する者はすべて、彼から生まれた者を愛します。

彼は分与する神ですから、私たちを再生することができます。そしてこの再生する命は神聖な命です。... 神聖な命は分与する神であり、神は召会の本質そのものです。... 私たちクリスチャンが互いに愛し合うのは、同じ本質を持っているからです。私たちがアメリカ人、ヨーロッパ人、中国人、日本人、韓国人、白、黒、黄、茶、赤であっても、重要ではありません。私たちはまことのクリスチャンである限り、私たちの内側に愛する本質を持っています。私たちはこの内在的な本質から向きを変え、他のものに触れるとき、互いに争い始めます。... クリスチャンの間の問題を解決するために、私たちは召会の内在的な事柄に來なければなりません。すなわち第一に、内在的な本質、第二に、内在的な成長、第三に、内在的な建造、第四に、内在的な交わりです。

召会の内在的な本質は神聖な命であり、手順を経た三一の神が分与したものであり、そして今も私たちの中へと分与しつつあるものです。神聖な命は、その霊が私たちの霊の中で再生することによって、私たちを生みます。神聖な霊は人の霊を生みます。この二つ霊がミングリングされて一になっているとは、何とすばらしいことでしょう。

**OL2:** 私たちは再生されるとき、神の子供たちとされ、花婿であるキリストの花嫁とされ、彼の増し加わりとなります。それは、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます。 創2:22 こうして、エホバ・神は、その人から取ったあばら骨を一人の女に建造し、彼女をその人の所に連れて来られた。 ヨハネ1:12 しかし、すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた。 13 これらの人は血からではなく、肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのである。 3:29-30 花婿を持つ者は花婿である。... 彼は必ず増し加わるが、私は必ず減少する。

私たちは再生されるとき、神の子供たちとされ、花婿であるキリストの花嫁とされ、彼の増し加わりとなります。それは、アダムの配偶者としてのエバによって予表されます。再生は信者たちを神の子供たちとします。

個人的に、私たちは神の子供たちですが、団体的には一つの実体、キリストの花嫁です。ヨハネ3章の初めの部分で、主イエスは再生について語られました。後ほど同じ章でバプテスマのヨハネは、再生された人々を総合的にキリストの一人の花嫁として言及しました。... 主イエスは死に渡されたとき、死の中にとどまられませんでした。彼は復活されました。彼は復活の中で多くの救われた者を伴い、彼らを生み出して彼の一部分とならせました。これらすべての部分が一緒にされるとき、彼の配偶者としての花嫁となります。

適用: 新人及び青少年・大学生編

あなたが信じてバプテスマされた時、あなたは救われ、神の命によって生まれました。この命のゆえに、あなたは神の子供、キリストの兄弟、神の家族のメンバー、キリストのからだの肢体になりました。

あなたはこの神の永遠の命を持っていることを、主の中で誇って、「ハレルヤ! 私は神の永遠の命、神聖な命を持っています。私は家系が良かったからではなく、墮落した肉の意志からでもなく、人の意志からでもなく、神から生まれたのです」と祈ってください。

次に、あなたは毎日この命を享受して、成長させる責任があります。あなたは自分の責任を果たすために、**①** 毎朝復興するために、御言葉を祈り読みし、**②** 祈りの中で主と交わり、**③** 兄弟姉妹に開いて親密な交わり、**④** 主日の集会に参加し、**⑤** 古い人を十字架に付け、キリストが内側で生きるようにしてください。 ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。**①~④**は外側の実際的な実行ですが、**⑤**は神のエコノミーの内在的な核です。あなたは何をしても、「生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです」の内在的な経験に到達しなければなりません。これが、神の新約エコノミーの焦点です。そうすれば、かしらであるキリストの中へと成長し、キリストのからだの一体として肢体仲間と共に組み合わされ、機能することができます。

**兄弟の証し:** 救われる前の中高生の時、私は自分の精神的な弱さに悩まされていました。今考えると、サタンが私の神経質な性格に攻撃してきて、私を脅迫し、悩ませ、弱くさせていました。大学に入って救われた後、合気道の大会(試合ではなく演武)がある時、トイレに行って次のように祈りました、「おお主イエスよ、私は緊張する性格です。今まで練習ではできて本番になると失敗したり、逃避したりしてきました。しかし今、あなたは私の中に生きておられます。あなたは緊張しないと思います。もしあなたが緊張しないなら、あなたが内住する私も緊張しないはずです。主よ、私は真剣です。あなたが私の中に生きて、私と共にすべての事を行ってください。生きているのはもはや私ではなく、キリストが私の中に生きています」。このように祈った後、毎回、古い私とは全く異なり、緊張、焦り、不安から解放された新しい私、集中している新しい私がありました。後で気付きましたが、私が主観的に「キリストの内住」を経験することは、神のエコノミーの内在的な核です。このような主観的な経験の直ぐ後、集会で語る力と福音を伝える力が出てきました。 **祈り:** おお主イエスよ、主を信じ受け入れた時から、神聖な命が私の中に住み始めました。今、私には、毎日この命を享受して、成長させる責任があります。そのために**①** 御言葉を祈り読みして毎朝復興し、**②** 祈りの中で主と交わり、**③** 兄弟姉妹に開いて交わり、**④** 主日の集会に参加し、**⑤** 古い人を十字架に付け、キリストが内側で生きるように主と協力する必要があります。私の中に生きているキリストを生かし出すことができますように。アーメン!

**CP2:まことのぶどうの木であるキリストの中に住み、神聖な命の供給を受け、互いに愛し合い、残る実を結ぶ**

**OL1:**キリストの多くの兄弟たちは、宇宙におけるまことのぶどうの木であるキリストの中へと接ぎ木された多くの枝であり、多くの実を結び、彼の開展における拡大となります。それは、彼らが三一の神を、彼の有機体として表現するためです。ぶどうの木の枝は、キリストの命の樹液としての命を与える霊の十分な供給を受けるとき、実を結んで、内なる命の供給のあふれ流れとなります。ヨハネ15:1 私はまことのぶどうの木であり、私の父は栽培者である。4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。5 私はぶどうの木であり、あなたがたはその枝である。人が私の中に住んでおり、私もその人の中に住んでいるなら、その人は多くの実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もすることができないからである。

**OL2:**この三一の神の有機体は、キリストの有機的なからだであり、彼の多くの兄弟たち、すなわち彼の有機的なからだの多くの肢体で構成されています。

**OL3:**私たちは召会の有機的な存在を見て、経験する必要があります。召会が宇宙に存在するのは、神の一つの宇宙召会としてであり、神の宇宙的な表現、すなわち神の豊満のためです。召会は地上で多くの地方に広がっていき、多くの地方召会となり、地方における彼の表現となります。

**OL4:** I コリント12:28でパウロは、使徒(彼らは宇宙的ですが)、預言者と教える者(彼らは宇宙的であり、また地方的です)、執事と長老(彼らは地方的です)をみな一緒にしています。これが意味するのは、この節の「召会」という言葉が、宇宙召会とすべての地方召会を暗示しているということです。

**I コリント12:28** こうして神が召会の中に立てられたのは、第一に使徒、第二に預言者、第三に教える者、次に力あるわざを行なう者、次にいやしの賜物を持つ者、助ける者、治める者、各種の異言を語る者です。

**OL5:**神の目に、宇宙召会とすべての地方召会はただ「召会(the church)」です。手順を経て、今や分与する三一の神は一であり、彼は召会の本質そのものです。ですから、この召会は、その宇宙的な面でも地方的な面でも、一つの召会です。召会の内在的な本質は、召会の有機的な存在のためであるということに、私たちが戻って来るとき、諸地方召会は互いに異なることができるという誤った教えについて、間違っていることではないでしょう。すべての召会は、手順を経て分与する三一の神の、唯一の、一つの有機体です。

**OL6:**聖書によれば、実行上の、七重の一は、私たちが①教えにおいて一であり、②実行において一であり、③思うことにおいて一であり、④語ることに一であり、⑤本質、⑥外観、⑦表現において一であることです。**エペソ4:3** 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。4 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。5 一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。6 すべてのものの神また父は一つ、...

**適用:ビジネスパーソン・大学院生編**

あなたは、まことのぶどうの木であるキリストに接ぎ木された枝であることを認識してください。ヨハネ 15 章での重点は、①ぶどうの木とその枝のビジョン、②枝はぶどうの木の中に住む必要があること、③枝々は互いに愛し合うこと、④実を結びことと実が残ることです。

**ヨハネ 15:1** 私はまことのぶどうの木であり、FN **まことのぶどうの木** まことのぶどうの木(御子)と、その枝(御子にある信者たち)は、神のエコノミーにおける三一の神の有機体です。この有機体は、彼のさまざまな豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します。

**16** あなたがたが私を選んだのではない。むしろ、私あなたがたを選んだのである。そしてあなたがたを立<sup>て</sup>た。それは、あなたがたが<sup>出</sup>て行って実を結び、あなたがたの**実が残るため**であり、あなたがたが私の名の中で父に求めるものは何でも、彼があなたがたに与えてくださるためである。**立<sup>て</sup>た** 私たちは野生の枝でしたが、信仰を通してキリストへと接ぎ木されました。ここで主は、私たちを「立<sup>て</sup>た」と言われました。これは接ぎ木の思想と一致します。**出<sup>て</sup>行って実を結び** 出<sup>て</sup>行って結ぶ実<sup>は</sup>、実を結ぶ者の品格上の美徳、例えば、ガラテヤ 5:22~23 に述べられているような、聖霊が信者たちの生活の中で結ぶ実を意味するのではなく、実を結ぶ者によって生み出される信者たちを意味します。私たちが主にあつて生み出す信者だけが、キリストの具体的な増殖です。この章のまことのぶどうの木はキリストの増殖と関係があります。**実が残るため** 私たちは、出<sup>て</sup>行って主の中で信者を生み出した後、彼らを顧みる必要があります。最上の方法は、彼らの家庭で集会を設け、彼らを覆い、保護することです。こうして彼らは、養われ、教えられることによって顧みられ、残る実となって、まことのぶどうの木の枝の中で生きるでしょう。すなわち、キリストのからだの中で、キリストの増し加わりとなります。

**17** 私がこれらの事をあなたがたに命じるのは、あなたがたが互いに愛し合うためである。**愛し合う** これは、主の命、神聖な命の中で、主の愛の中で、実を結ぶという彼の使命の中で、互いに愛することです。命は源であり、愛は条件であり、実を結ぶことは目標です。

ビジネスパーソンや研究者は、主の中で勤勉に働き、仕事において主の証しを立てて下さい。それだけでなく、定期的に出<sup>て</sup>行って福音を伝え、人を救いにもたらし、新人を家庭集会で養い、残る実を結ぶべきです。

また、キリストの宇宙的なからだの一を保つため、全地の兄弟姉妹と同じ朝毎の食物にあずかり、同じものを食べ、同じことを語ります。そして、キリストのからだの実際のために諸召会(特に、近隣の諸召会)はブレンディングされるようにすべきです。もちろん、神戸にある召会の六つの地区の間でもブレンディングが必要です。

**祈り:**お主イエスよ、私はまことのぶどうの木であるキリストに継がれた枝です。枝はぶどうの木の中に住み、豊かな栄養を受けて享受し、互いに愛し合います。職場や大学院において主の中で勤勉に働いて証しとなります。それだけでなく、定期的に出<sup>て</sup>行って福音を伝え、人を救いにもたらし、新人を家庭集会で養い、残る実を結ぶ必要があります。これがぶどうの木の枝の目標です。私は仕事が忙しくても、残る実を結ばなければなりません!

**CP3:**心を主に向け、思いの中の頑固さ、暗さから来る覆い、  
反逆、腐敗の四つの病がいやされ、主を純粋に愛する

**OL1:**私たちは絶えず私たちの霊を訓練し、私たちの心を主に向けて、召会の有機的な存在のために、召会の内在的な本質の実際にある、命の道にとどまらなければなりません。IIコリント11:2 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。3 ところが、私が恐れるのは、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、あなたがたの思いが腐敗させられて、キリストに対する単純さと純潔を失いはしないかということです。

処女であることに関して、私たちは、適切な方法で彼を享受するために、彼に対して正常な愛を持たなければなりません。彼に対する私たちの愛が正常でない時はいつでも、すべては終わりです。それは、妻が自分の夫を愛していないとき、夫と妻の正常な関係が失われるのと同じです。正常な関係は、妻の賢さや能力にかかっているのではなく、彼女の愛にかかっています。

**OL2:**人の思想(思い)の第一の病状は思いをかたくなにすること、第二の病状はサタンによってくらまされていること、第三の病状は反逆、第四の病状は腐敗です。私たちは祈るべきです、「おお、主よ、私の思想を探り、私の思想を救って、私の思想が単一に完全にあなたに集中することができるようにしてください」。IIコリント10:4 私たちの戦いの武器は、肉のものではなく、神の御前に力があって、要塞をも破壊し、5 神の知識に逆らい立っている議論や、あらゆる高ぶりを破壊し、あらゆる思想をとりこにして、キリストに対して従順にならせます。

私たちは自分たちの愛に関して目を覚ましている必要があります。...私たちと主との間の愛は、私たちの思想にかかっています。それは、夫と妻の間の愛が、互いに正常な思想を持つことにかかっているのと同じです。妻が自分の夫に関して思想において正常でないなら、深刻な問題があるようになります。もし彼女が友人によって欺かれ、親族の影響を受けるなら、夫に関して彼女の思想は腐敗させられます。その結果、夫に対する彼女の愛には問題があるようになります。...愛は非常に敏感で繊細な感覚です。

IIコリントによれば、私たちの思想の第一の病状は、私たちがかたくなになることです。...ある人が主以外の何かに関して強い思いを持つとき、彼の思いはかたくなになる可能性があります。ひとたび人が思いにおいてかたくなになるなら、彼と主との間におおいがあるようになって、彼は主を知ることができなくなります。

人の思想の第二の病状は、サタンによってくらまされていることです。人の思想は人の目のようです。人の中に入って来るものはすべて、まず人の思想を通過しなければなりません。それは、自然の景色がまず人の目を通過しなければならないのと同じです。もし私たちの思想がサタンによってくらまされているなら、私たちの思想におおいがあるようになります。かたくなにされた思いよりもおおいを対処するほうが、さらに難しいのです。

ローマ8:6は、私たちは自分の思いを霊に付けるべきであると言います。私たちの思想が救われるために、私たちの思想は向きを変えられ、集中させられ、きよ

められ、正しい路線上になければなりません。

### 適用:奉仕者編

あなたは思いの中の頑固さ、暗さから来る覆い、反逆、腐敗の四つの病からいやされる必要があります。思いの中の病がいやされることができれば、あなたのビジネスパーソンとして、学生として、主婦として、或いは奉仕者として大いに成長することができます。

グローバル・ビジネスにおいて、日本人の勤勉さが評価される反面、日本人の頑固さと新しいものを受け入れない性質が問題視されることがあります。

例えば日本の労働生産性は1990～1997年まで優れていました。その後、ITの活用により労働生産性が劇的に改善される時代になると、近年は先進国の中で最低です。日本は現場での改善を得意としていましたが、ITのデジタル時代になってから、それに対応することが諸外国に比べて極めて遅れています。これは日本人が新しいものを受け入れることが難しく、変化を好まず、伝統を尊重する国民性に起因しています。日本語を話す聖徒たちは、自分たちの古い人が頑固で、固定観念や偏見があって、変化を受け入れるのが難しいことを認識してください。その上で、訓練して霊を活用し、思いを開き、思いを霊に付けて、自分の欠点を告白し、主と交わってください。そうでなければ、あなたは神聖な分与の下での思いの更新にあずかり損ねる可能性が高いのです。

サタンは暗闇の思想を人の思いに注入します。例えば、あなたの配偶者や奉仕のパートナーについて、サタンは相手を嫌わせる思想をあなたの思いに注入してきます。あなたがそれらを考えれば考えるほど、あなたはますます暗くなり、相手を嫌いになり、憎むようになります。あなたはキリストを救いのヘルメットとして取り、これらのサタンの注入を拒絶すべきです。そして、思いを霊に付けて、「おお主よ、配偶者の故に主に感謝します。奉仕のパートナーの故に主に感謝します。彼らは私を助ける愛すべき聖徒たちです。私はサタンの提案を部分的に拒否するのではなく、すべて拒否します。サタンの提案は検討にも値しません。サタンよ、退け! アーメン!」と祈ってください。そうすれば、あなたは神のすばらしいアレンジメントに気付くでしょう。

IIコリント10章で思いの要塞が破壊されて、11章で純粋な心を持って主を愛することが啓示されています。このことは、あなたは思いの中の四つの病状からいやされるなら、思いが健康になり、主を純粋に愛し、配偶者を愛し、霊的パートナーを愛することができるという意味です。感情が正常に機能するために、思いが正常に機能する必要があります。あなたがこの原則を、実際の結婚生活、ビジネスライフ、召会生活で適用することができますように。祈り:おお主イエスよ、単純さと純粋さを持って主を愛するために、私の思いの四つの病状がいやされる必要があります。主よ、思いの中の頑固さ、暗さから来る覆い、反逆、腐敗の四つの病いをいやしてください。特に日本人は頑固で、固定観念や偏見が強く、新しいものを受け入れるのが難しいです。この頑固さと覆いから来る固定観念や偏見から解放されるなら、神のエコノミーの真理、命の供給、建造、召会生活を正しく評価することができます。